

林 務 課

1 森林の概要

(1) 森林面積

上田地域の森林面積は65,871haで、森林率(総面積に占める森林の割合)は72.8%(県全体:77.9%)となっている。民有林の人工林率(国有林以外の森林のうち人工的に植栽等が行われた森林の割合)は53.7%(県全体:48.7%)と比較的高くなっている。(単位:ha、%)

区分	総面積	森林面積						森林率	民有林の人工林率
		国有林	民有林				合計		
			人工林	天然林	その他	計			
上田市	55,204	12,168	13,741	12,826	959	27,526	39,694	71.9	49.9
東御市	11,237	3,754	1,054	822	30	1,905	5,659	50.4	55.3
長和町	18,386	8,238	4,762	2,645	192	7,599	15,837	86.1	62.7
青木村	5,710	984	2,297	1,337	62	3,697	4,681	82.0	62.1
計(A)	90,537	25,144	21,854	17,630	1,243	40,727	65,871	72.8	53.7
県計(B)	1,356,160	368,536	334,871	333,362	19,635	687,867	1,056,404	77.9	48.7
(A)/(B)	6.7	6.8	6.5	5.3	6.3	5.9	6.2	—	—

(2) 民有林の樹種別面積

アカマツが22.2%、カラマツが31.5%を占め、2樹種で過半を占めている。アカマツの占める割合は県全体と比較して大きく上回っており、アカマツへの依存度が高い。

区分	単位	スギ	ヒノキサワラ	アカマツ	カラマツ	その他針葉樹	広葉樹	計
人工林	ha	1,949	1,914	5,018	12,420	118	435	21,854
天然林	ha	3	3	3,756	8	83	13,778	17,631
計	ha	1,952	1,917	8,774	12,428	201	14,213	39,485
構成比	%	4.9	4.9	22.2	31.5	0.5	36.0	100.0
県計	ha	55,309	51,976	90,766	178,272	15,264	276,645	668,232
構成比	%	8.3	7.7	13.6	26.7	2.3	41.4	100.0

(3) 民有林における人工林の林齢別面積

森林の高齢林化が進み、51年生以上が全体の81.4%を占めている。

区分	単位	林齢(年生)						計
		20以下	21~30	31~40	41~50	51~60	61以上	
上田地域	ha	495	400	1,227	1,932	6,230	11,571	21,854
構成比	%	2.3	1.8	5.6	8.8	28.5	52.9	100.0
県計	ha	3,404	4,568	13,912	36,474	95,243	181,270	334,871
構成比	%	1.0	1.4	4.2	10.9	28.4	54.1	100.0

(4) 個人有林における森林所有規模別の林家数

森林所有面積が1ha以下の林家数が全体の72.4%を占め、県全体の66.7%を上回っている。

区分	単位	所有面積規模(ha)					計
		1以下	1.01~5	5.01~10	10.01~20	20超	
上田地域	林家数	9,106	2,937	417	135	33	12,628
構成比	%	72.1	23.2	3.3	1.1	0.3	100.0
県計	林家数	112,272	42,581	8,285	3,509	1,261	167,908
構成比	%	66.8	25.4	4.9	2.1	0.8	100.0

出典：(1)~(4) 長野県民有林の現況(令和5年9月)

(5) 林業生産額の状況

管内の令和4年度の林業生産額（推定）は14億4600万円で、全県の10%を占めている。

令和4年度の木材生産については、カラマツを主とする主伐が進み、令和3年度より約11,506 m³増加するとともに、生産木材の価格が好調であったことから約3億円増加した。

【令和4年度 林業生産額(推定)】

種 類	生 産 量			生産額（単位：百万円）				備 考
	単位	全県	上田	全県	上田	占有率	構成比	
木 材	千m ³	467	72	7,412	1,143	15%	79%	国有林を含む
木 炭 等	トン	22	3	8	1	13%	0%	竹炭、木酢液、竹酢液を含む
薪	層積 m ³	16,110	51	237	2	1%	0%	
特用林産物	トン	8,520	482	6,236	300	5%	21%	くり、くるみは含まれない
林業用苗木	千本	2,018	—	320	—	—%	—%	
計				14,214	1,446	10%	100%	

出典：令和4年度長野県林業統計書・令和5年度木材統計

2 林業の振興対策について

(1) 林業従事者等の現状

管内の林業従事者は、平成25年度をピークに減少傾向にあり、令和4年度も前年度に比べ3人（対前年度比2%）減少し、120人となった。

信州上小森林組合は、管内の林業従事者全体に対する区分比が43%（全県の森林組合平均32%）と高く、地域の中核的な事業体としての役割を果たすことが期待されており、今後とも人材の確保・育成等を強化していくことが求められている。

他の事業体についても、森林整備事業への従事を促進するため、引き続きセミナーや研修等を開催し、担い手の雇用による体制の強化とともに質的向上を図る。

ア 林業事業体、従事者の現状

（単位：体、人）

区 分	事業体数		従事者数		区分比		
	管 内	全 県	管 内	全 県	管 内	全 県	
森林組合	1	18	51	474	43	32	
会 社	林業	7	91	37	726	31	48
	その他	4	21	17	106	14	7
個人営業体	4	39	15	99	13	7	
その他(市町村・財産区・協同組合・NPO)	0	11	0	96	0	6	
合 計	16	180	120	1,501	100	100	

出典：令和4年度林業事業体等調査（調査対象年度：令和4年度）

イ 森林組合の概要

（単位：人、千円）

組合名	年度	組合員数	事業取扱高	職員数	技能職員数
信州上小 森林組合	合併時(H7年度)	8,427	1,996,523	36	101
	H14年度	8,365	1,974,258	31	86
	H21年度	8,229	1,197,228	27	64
	H30年度	8,153	1,141,952	29	76
	R4年度	8,048	1,048,036	26	56
県平均	R4年度	4,571	469,715	16	30

出典：令和4年度等の森林組合一斉調査（調査対象年度：令和4年の各森林組合の事業年度）

(2) 県産材の利用促進

長野県県産材利用指針に基づき、公共施設等における県産材の利用を促進するとともに、型枠や杭など公共土木事業への積極的な県産材使用を関係機関と連携して推進している。

また、長野県森林づくり県民税を活用し、市町村や民間施設の木造・木質化、調度品・おもちゃの

設置や暮らしの中の製品を県産材製品へ替える事業を推進してきている。

さらに、令和3年4月に上小森林認証協議会が森林認証（SGEC）を再取得（更新）し、認証森林の適正管理と認証材の生産・流通に取り組んでいる。

ア 「子どもの居場所」木質空間整備事業（令和4年度実績）

（単位：円）

市町村	事業主体	事業内容	事業費	補助率	補助金額
上田市	長野トヨタ(株)	木のおもちゃ設置	420,000	3/4以内	315,000
上田市	上田市	木のおもちゃ設置	483,230		362,418
東御市	（有）田中製材工業	木造・木質化 木のおもちゃ設置	4,921,400	1/2以内 3/4以内	2,567,944
計			5,824,630		3,245,362

イ ウッドチェンジ普及促進支援事業（令和5年度実績）

（単位：円）

市町村	事業主体	事業内容	事業費	補助率	補助金額
上田市	フォレストライフ協同組合	木製工作キット（もっくら）	4,003,114	1/2以内	2,000,000
東御市	（有）田中製材工業	音響パネル、録音ブース	5,204,000		1,769,000
長和町	齋藤木材工業(株)	木製サウナ	3,320,000		1,660,000
計			12,527,114		5,429,000

ウ 上田地域のSGEC認証森林

上小森林認証協議会会員	森林の名称	※森林面積 (ha)
上田市	上田市有林	2,635.63
	上田市東御市真田共有財産組合有林	1,574.49
	武石財産区有林	1,246.98
東御市	東御市有林	38.71
	滋野財産区有林	23.45
長和町	長和町有林	1,400.52
	古町財産区有林	215.45
	大門財産区有林	1,155.56
	長久保財産区有林	130.54
青木村	青木村有林	33.22
	青木村及び上田市共有財産組合有林	439.12
長野県	長野県営林（上田地域分）	540.59
信州上小森林組合	信州上小森林組合有林	8.63
計		9,442.89

※ 第1期森林認証は平成28年4月に8,971haで取得、第2期森林認証は令和3年4月に9,442haで更新

エ 木材産業成長産業化促進対策事業

（単位：千円）

区分	事業主体	市町村	施設整備内容	事業費	補助金額
R4年度 (R5～繰越)	齋藤木材工業(株)	長和町	5軸加工ライン等	161,200	80,600

3 林業・山村の活性化対策について

(1) 野生鳥獣による被害発生状況

令和4年度の野生鳥獣による農林業被害額は約7,475万円、対前年比157%で、カラス及びニホンジカの被害額が約4,674万円で全体の約63%を占めている。この被害対策として、捕獲及び侵入防止柵設置等を実施している。

【野生鳥獣別の被害額】

(単位:ha、千円)

区分		令和3年度		令和4年度		主な被害作物	
		被害面積	被害額	被害面積	被害額		
農 業	鳥 害	スズメ	145.8	4,070	142.1	4,573	稲
		カラス	59.3	16,677	59.2	21,161	果樹
		ヒヨドリ	33.5	1,009	32.3	1,036	野菜、果樹
		ハト	9.0	565	4.7	196	豆類
		その他鳥類	13.8	864	11.2	474	果樹、稲
		小計	261.4	23,185	249.5	27,440	
	獣 害	ツキノワグマ	1.3	900	1.5	925	野菜、果樹
		イノシシ	20.7	2,872	31.0	4,353	野菜、果樹、いも類
		ニホンジカ	86.0	10,315	91.1	25,581	稲、野菜、果樹
		カモシカ	0.8	139	1.3	221	野菜、果樹
		ハクビシン	56.9	8,607	53.7	9,464	果樹、野菜
		その他獣類	7.5	993	3.8	1,330	野菜、果樹
		小計	173.2	23,826	182.4	41,874	
計	434.6	47,011	431.9	69,314			
林 業	獣 害	ニホンジカ	0.4	594	6.2	4,928	カラマツ
		その他獣類			0.4	509	
	計	0.4	594	6.6	5,437		
合計		435.0	47,605	438.5	74,751	対前年比157% R4県全体の10%	
長野県全体			731,552		738,012		

出典：林務課、農業農村支援センター資料

(2) 野生鳥獣による被害対策の状況

野生鳥獣による農林業被害は、経済的な損失はもとより、地域住民へ精神的なダメージを与えていることから、市町村が行う捕獲などを支援するほか、平成19年度から林務課、農業・農村支援センター、商工観光課、環境課からなる野生鳥獣被害対策チームを組織し、市町村と連携しながら、被害集落に対して電気柵設置など「集落ぐるみの被害対策」に取り組んでいる。

ア 野生鳥獣総合管理対策事業の実績及び計画

(単位：千円)

事業種目	令和5年度実績			令和6年度計画(要望)		
	事業内容	事業費	補助金額	事業内容	事業費	補助金額
ツキノワグマ移動(学習)放獣	34頭	2,798	1,255	39頭	2,344	1,172
鳥獣被害対策実施隊員支援	235人	317	159	246人	329	164
銃猟者確保育成支援	1人	22	11	54人	228	114
捕獲檻等購入支援	30基	185	92	30基	218	108
広域捕獲支援	一式	594	214	一式	500	250
計		3,916	1,731		3,619	1,808

イ 鳥獣被害防止総合対策交付金の実績及び計画

(単位：千円)

事業種目	令和5年度実績			令和6年度計画(要望)		
	事業内容	事業費	補助金額	事業内容	事業費	補助金額
緊急捕獲活動 支援事業 (個体数調整)	シ 2,195 頭	3,7572	12,784	シ 2,470 頭	34,580	17,290
	イシ 260 頭	3,934	1,460	イシ 320 頭	4,480	2,240
	ハクビシ 173 頭	590	154	ハクビシ 240 頭	480	240
	カラス 711 羽	356	142	カラス類 1,000 羽	400	200
計		42,452	14,540		39,940	21,778

ウ 野生鳥獣の捕獲状況

(単位：羽、頭)

事業種目	令和3年度			令和4年度		
	狩猟	有害鳥獣駆除 ・個体数調整	計	狩猟	有害鳥獣駆除 ・個体数調整	計
スズメ類	135		135		7	7
カラス類		1,639	1,639		1,096	1,096
ハト類	46		46		47	47
その他鳥類	202	37	239		7	7
鳥類計	383	1,676	2,059	0	1,157	1,157
ニホンジカ	399	2,897	3,296	39	2,668	2,707
ツキノワグマ		9	9			0
カモシカ	非狩猟獣	4	4	非狩猟獣		0
イノシシ	60	127	187	26	263	289
ハクビシ	3	264	267		244	244
その他獣類	32	556	582		596	596
獣類計	494	3,851	4,345	65	3,784	3,849

出典：林務課資料

(3) 特用林産物振興対策

農山村における貴重な現金収入源である特用林産物の生産振興を図るため、生産者研修会の開催などにより生産者の事業活動強化を図っている。

【特用林産物生産量の推移】

(単位：きのこ類・木炭等・山菜類 トン、薪 百積層m³、%)

区分	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		前年度比	
		全県		全県		全県		全県		全県
きのこ類	829	7,294	867	7,146	807	8,744	472.6	8,418	59	96
ナメコ	777	4,267	845	4,355	784	5,687	438.6	5401.7	56	95
マツタケ	0.9	6.9	1.0	8.6	2.1	31.8	1.8	22.6	86	71
生シイタケ	50.7	3,020	21	2,782	19.3	3,017	32.2	2985.3	167	99
木炭等	2.2	25.6	3.2	37.5	3.2	28.9	2.9	21.6	91	75
薪	0.5	146	0.4	114	0.6	249	0.5	161.1	83	65
山菜類	13.2	55	10.5	112	10.5	99	7.4	91.0	70	92

出典：令和4年度長野県林業統計書

(4) 森林環境教育の推進

次代を担う子供たちや地域住民に、身近な森林や森林資源を活用した活動等を通じて健全な森林の育成に対する意識の高揚を図っている。

ア みどりの少年団の現況（令和6年4月現在）

（単位：団、人）

地区	団数	小学生	中学生	計	活動内容等
上田	10	1,207	0	1,207	U E 森植樹の集い・交流集会等への参加、キノコ栽培・木工体験・森林教室等の実施
県全体	179	21,344	3,306	24,650	県全体数字はR 5 年 4 月現在

イ 森林環境教育に係る森林づくり県民税活用事業の実績

区分	事業名	事業主体名	活動内容
H29	木育推進事業（木育活動型）	上田市立傍陽小学校	学校周辺の森林を活用した森林学習他
H30	木工体験活動支援事業	（公財）身体教育医学研究所	県産材を活用した木工体験活動
	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備
R 元	木工体験活動支援事業	上田市立南小学校	県産材を活用した木工体験活動
R 2	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備
R 3	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備
R 4	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備
R 5	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備

4 森林整備について

（1）森林整備の推進

森林資源の循環、森林の有する多面的機能の持続的発揮を図るため、路網整備や高性能林業機械の導入等も進めながら主伐・再造林や搬出間伐を主体とした森林整備を推進しており、これに伴い素材生産量も伸びている。

【素材生産量の推移】

（単位：m³）

区分		H20①	H25	H30	R 3②	R 4③	③／②	③／①
全 県	国有林	136,354	183,927	216,592	200,230	174,935	87.4	128.3
	民有林	169,010	284,078	354,584	352,912	388,878	110.2	230.1
	計 A	305,364	468,005	571,176	553,142	563,813	101.9	184.6
上 田 地 域	国有林	28,591	24,489	49,846	20,942	25,793	123.2	90.2
	民有林	19,378	32,123	39,216	38,812	45,467	117.1	234.6
	計 B	47,969	56,612	89,062	59,754	71,260	119.3	148.6
	B／A	15.7%	12.1%	15.6%	10.8%	12.6%	—	—

出典：長野県木材統計（暦年実績）

(2) 里山整備の推進

長野県森林づくり県民税を活用して集落周辺の里山の整備も進めており、平成30年度（第3期森林税）からは「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山整備を支援している。

ア 里山整備方針の「防災・減災」優先整備箇所（令和5年5月時点）

市町村名	上田市	東御市	長和町	青木村	計
優先整備箇所数	33箇所	15箇所	24箇所	14箇所	86箇所
対象区域森林面積	377 ha	134 ha	198 ha	136 ha	845 ha

イ 上田地域の里山整備利用地域認定状況（令和6年5月末現在）

認定年月日	市町村名	地域名	活動を推進する地域団体の名称
H30年10月25日	上田市	霊泉寺温泉	霊泉寺温泉自然JUKUプロジェクト
〃	〃	飯沼	里山環境整備プロジェクトチーム
H31年3月19日	青木村	村松西	村松西地区里山整備利用推進協議会
〃	上田市	鹿教湯温泉	鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクト
R5年11月21日	東御市	和	和地区里山整備プロジェクトチーム
R6年2月15日	上田市	鈴子	鈴子緑のフォレスター倶楽部

(3) 松くい虫防除対策の推進

管内の松くい虫被害は、昭和59年に上田市で確認以来、4市町村で発生しており、令和5年度の被害量は10,679 m³（対前年度比130%）で、県全体の19.3%を占め、松本地域に次ぐ被害量となっている。

平成14年度までは被害木の全量駆除を実施したが、平成15年度からは「守るべき松林」及び「周辺松林」において「集中と選択」により、被害木の伐倒駆除や樹種転換等の防除対策を集中的・効果的に実施している。

ア 被害の推移

（単位：m³、%）

区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
上田管内	21,733	21,342	16,454	12,194	9,144	8,213	10,679
長野県	74,049	71,996	70,440	64,022	51,443	48,080	55,280
対全県比率	29.3	29.6	23.4	19.0	17.8	17.1	19.3

（R6年5月林務部資料）

イ 防除対策の実績

（単位：材積 m³、面積 ha）

区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
伐倒駆除材積	9,136	8,698	7,014	5,048	3,447	4,296	5,962
地上散布面積	20	0	0	0	0	0	0
樹幹注入面積	6	4	2	2	1	1	1
樹種転換面積	3	13	9	9	13	14	5

(4) 林地保全対策の推進

山地災害から住民の生命、財産を守り、森林の公益的機能に対する社会的要請に対応するため、災害の防止や水源かん養等の機能の確保・向上を目的に治山事業を実施している。

また、保安林機能の維持増進のため、保安林の適正な配備を行うとともに、保安林整備事業を実施している。

【治山事業：令和5年度実績及び令和6年度計画】

(単位：箇所、千円)

事業名	令和5年度実績		令和6年度計画		対前年度比	
	箇所	事業費	箇所	事業費	箇所	事業費
復旧治山(2か年国債)	1	61,000	(1)	109,000		
機能強化・老朽化対策			2	71,500		
保育	1	2,442	2	6,930		
予防治山	1	43,450	1	64,900		
林地荒廃防止	3	116,545	1	36,300		
公共計	6	223,437	6	288,630	100%	129%
県単治山	4	12,606	4	15,198	100%	121%
計	10	236,043	10	303,828	100%	129%

注：実績・計画には翌年度への繰越を含まない。(2か年国債は、各年度に該当額を計上)

【令和6年度治山事業計画箇所一覧】 ※予算区分は全て令和6年度当初

番号	事業名	市町村名	箇所名	新・継	工種
1	復旧治山 (2か年国債)	上田市(丸子)	山ノ神	継	谷止工(コンクリート) 1個 1,450 m ³
2	保育	上田市	野倉	新	森林整備(本数調整伐 2.90ha)
3	保育	上田市	野倉	新	測量設計 1式
4	予防治山	上田市(丸子)	寺沢	継	谷止工(鋼) 1個 3.195t
5	機能強化・老朽化対策	上田市(丸子)	中洞	新	谷止工(コンクリート) 1個 380m ³
6	機能強化・老朽化対策		上田管内一円	新	治山施設点検調査 1式
7	林地荒廃防止	上田市(武石)	小原	継	床固工(コンクリート) 2個 130m ³ 、流路工 41m
8	県単治山	上田市	岳ノ尾・大谷	新	地すべり防止施設点検巡視、維持管理
9	県単治山	上田市	岳ノ尾・大谷	新	地すべり防止施設蓋取替、フェンス工他
10	県単治山	上田市(丸子)	東原	新	測量・設計 1式
11	県単治山	上田市(武石)	ホドガイ	新	測量・設計 1式

5 令和元年東日本台風による山地及び林道災害について

(1) 被害の概要

管内の被災状況は、千曲川以南の上田市塩田、丸子、武石及び長和町を中心に山地災害と林道災害が発生した。

(2) 被災状況及び復旧状況

【治山関係】

(単位：箇所、ha、千円)

市町村	被災状況			復旧状況		
	箇所数	面積	被害額	箇所数	事業費	復旧率(注)
上田市	14	2.33	365,061	10	690,045	71%
東御市	4	0.37	12,000	2	10,010	50%
計	18	2.70	377,061	12	700,055	67%

注：東御市1箇所(0.15ha)は市単独事業により対応済みのため、箇所及び復旧率に含むが、事業費の対象外

【林道関係】

(単位：箇所、m、千円)

管理者	被災状況				復旧状況				
	路線数	箇所数	延長	被害額	路線数	箇所数	事業費	復旧率(※)	
市町村	上田市	76	237	6,125	329,841	-	-	-	-
	うち公共災害	24	33	1,965	268,991	24	33	259,885	100%
	東御市	1	4	60	1,200	-	-	-	-
	うち公共災害	-	-	-	-	-	-	-	-
	長和町	31	144	5,298	193,416	-	-	-	-
	うち公共災害	8	21	1,893	153,916	8	21	149,501	100%
	青木村	3	12	491	19,956	-	-	-	-
	うち公共災害	1	1	91	17,156	1	1	16,374	100%
	計	111	397	11,974	544,413	-	-	-	-
	うち公共災害	33	55	3,949	440,063	33	55	425,760	100%
県(県有林)		3	21	542	25,811	-	-	-	-
	うち公共災害	3	6	112	20,811	3	6	20,811	100%
合計		114	418	12,516	570,224	-	-	-	-
	うち公共災害	36	61	4,061	460,874	36	61	446,571	100%

注：復旧率は、完了箇所比により算出

(3) 復旧事業の内訳

- ・治山関係(県営事業：11箇所、事業費700,055千円)は、令和2年度から本格復旧に着手し、災害関連緊急治山事業(3箇所、事業費207,669千円)、その他公共治山事業(6箇所、事業費469,242千円)や県単治山事業(2箇所、事業費23,144千円)により令和5年度までに完了した。
- ・令和6年度の治山事業は、機能強化・老朽化対策事業(1箇所、事業費51,700千円)を予定しており、残りの箇所も順次復旧事業を実施していく。
- ・林道関係のうち県営事業(県有林分)は、令和2年度から本格復旧に着手し、林道災害復旧事業(3箇所、事業費20,811千円)により令和3年度に完了した。
- ・林道関係のうち補助事業(市町村管理分)は、被害のあった111路線のうち公共災害として採択された33路線について、林道災害復旧事業により令和2年度から本格復旧に着手し、令和3年度末に全路線が完了した。(補助対象外となった78路線は市町村が自力事業等により対応)